

10月31日（木）に、海洋教育写真コンテストの表彰式が行われました。今年度は、新しくできた市民交流センターで開催されました。過去最多の応募数 983 点から選



ばれた 20 点が入賞しました。

開会にあたって、本研究所の星野代表理事から、「市内の小中学生の 4 割が応募した。今年度は、空の青さが際立った作品が多かった。これからも、地域の良さ、海の良さを感じていってほしい」というあいさつがありました。



表彰後、入賞作品一つひとつについて、東京大学臨海実験所の幸塚さんと上宮田小学校の山田校長に講評していただきました。

まとめとして、臨海実験所の岡所長が、「毎年楽しみにしている。写真は、同じ場所、同じものを撮っても、個性が表れて、同じものにはならない」と講評しました。

最後に、入賞者の記念撮影をして、和やかな雰囲気うちに終了しました。

これより、入賞作品を紹介していきます。



海の生き物部門の最優秀賞、初声小学校 5 年生の七五三木悠真（しめきゆうま）さんの作品です。タイトルは「はさんでやる！！」

イワガニ？が、はさみを上げて力強く威嚇している様子が、妙に可愛らしく見える写真です。カニを無邪気に追いかけて、撮影するチャンスをやっと見つけたのでしょうか？しっかりと、カニにピントが合っているところもポイントです。

優秀賞、岬陽小学校 3 年生の古梶琥珀（こかじこはく）さんの作品です。タイトルは「マンジュウホヤ」

10 cm ほどの大きさになるマンジュウホヤ、模様一つひとつが花びらに見えなくもありません。鳥のたまごのようにも見えます。自然の不思議さを感じさせる一枚です。



同じく優秀賞、名向小学校 4 年生の小松羽美（こまつうみ）さんの作品。タイトルは「かたまっているヤドカリ」です。

写真一杯に写っているヤドカリ。小さなヤドカリがここまで大きくなった、生命の力強さを感じさせる一枚です。大地一杯に足を延ばして、縄張りを主張しているようにも見えます。



（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで